

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ク レ オ
代表者の役職名 代表取締役社長 川畑 種恭

(JASDAQ コード 9 6 9 8)

問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員 小 池 博

TEL 0 3 - 3 4 4 5 - 3 5 0 0

平成 18 年 3 月 期 中 間 (連 結 ・ 単 独) 業 績 予 想 と の 差 異 及 び
通 期 (連 結 ・ 単 独) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 18 年 3 月 期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の 業 績 予 想 に つ い て 、 平 成 17 年 4 月 21 日 付 当 社 「 平 成 17 年 3 月 期 決 算 短 信 (連 結) 」 及 び 同 日 付 当 社 「 平 成 17 年 3 月 期 個 別 財 務 諸 表 の 概 要 」 に て 発 表 い た し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す 。

記

1 . 平 成 18 年 3 月 中 間 期 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

(1) 単 独 業 績 予 想 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円)

	売上高	経常利益	当期純利益	一株あたりの期末配当金
前 回 予 想 (A)	4,800	130	40	- 円
今 回 修 正 (B)	4,800	40	150	- 円
増 減 額 (B - A)	0	170	190	-
増 減 率	0%	-	-	-
前 期 (17 年 3 月 期 中 間) 実 績	4,325	94	7	-

(2) 連 結 業 績 予 想 (平 成 17 年 4 月 1 日 ~ 平 成 17 年 9 月 30 日)

(単 位 : 百 万 円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 予 想 (A)	5,760	150	20
今 回 修 正 (B)	5,800	30	180
増 減 額 (B - A)	40	180	200
増 減 率	0.7%	-	-
前 期 (17 年 3 月 期 中 間) 実 績	5,264	191	21

(3) 修 正 理 由

単 独 業 績 予 想

プロダクトサービス事業で当中間期より金額の重要性に鑑みて返品調整引当金を設定することとシステム開発事業で人員増に伴う採用費等の経費が増加したこと等により、経常利益および当期純利益が当初の予想から下方にぶれる見込となりますので修正いたします。

連 結 業 績 予 想

単 独 業 績 予 想 の 修 正 理 由 と 同 じ で す 。

2. 平成 18 年 3 月期 通期業績予想の修正について

(1) 単独業績予想 通期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	一株あたりの期末配当金
前回予想 (A)	11,000	580	440	10 円
今回修正 (B)	11,000	290	160	10 円
増減額 (B - A)	0	290	280	-
増減率	0%	50.0%	63.6%	-
前期(平成 17 年 3 月期)実績	9,097	581	872	-

(2) 連結業績予想 通期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	13,000	650	400
今回修正 (B)	15,000	340	130
増減額 (B - A)	2,000	310	270
増減率	15.4%	47.7%	67.5%
前期(平成 17 年 3 月期)実績	11,010	416	826

(3) 修正理由

単独業績予想

当中間期の業績予想修正理由に加えて、次年度以降の事業展開を見据えた研究開発投資を増額することにいたします。この結果、経常利益および当期純利益が通期で下方にぶれる見込みとなりますので修正いたします。

連結業績予想

中央システム(株)が連結子会社として加わったことから通期売上高予想を上方修正いたします。尚、同社の通期経常利益予想と連結調整勘定償却が相殺される見込であります。また、S E 子会社 2 社を期中に新設いたしました但連結業績予想に与える影響は少ないものと予想しています。

なお、配当につきましては、上述のように当期は業績回復が見込まれること、当社のキャッシュポジションの状況等を鑑み、予定通り 1 株当たり 10 円といたします。

以上